

❀ 議会だより

ふだい

議会と皆さんをつなぐ情報誌

祭りに一役 (めん二いなあ)

市場防犯カメラクラウド化	2 p
主な工事状況	3 p
令和6年度決算委員会	
不納欠損処理等	5～6 p
未来予想図・あとがき	14 p

9月定例会

定額減税不足額給付金など

3,258万円を増額！

一般会計補正予算

民生費

△子ども・子育て支援金制度体制整備事業委託料
253万円皆増

△岩手県更生保護協会補助金
5万円増

質問 更正保護法人岩手保護院改築事業への補助金のことだが、全市町村からの補助の総額と総事業費はいくらか。

回答 市町村からの補助金は全体で2千万円となる。総事業費は4億95万円で、実施主体となる保護院の自己資金もあるが、大部分は国、県、市町村等で負担していくもの。

衛生費

△定額減税不足額給付金
1,172万円増

△健康管理システム改修業務委託料
77万円増

農林水産業費

△クラウドサービス利用料
4万円皆増

質問 漁港の防犯カメラをクラウドで見れるとのことだが、これは津波注意報等で水門が閉まった時でも見れるのか。また漁協でも見ることが出来るか。

回答 インターネット環境が整っていれば、どこでもリアルタイムで見ることが出来る。パスワードなどを設定すれば、もちろん漁協でも見れるもの。

土木費

△住宅リフォーム促進事業
100万円増

教育費

△校章デザイン校正料
22万円皆増

質問 事業の内容に校章デザインの用途に応じたデザイン校正とあるが、どのような内容か。

回答 校章デザインはすでに1案に絞り込んでおり、それを校旗、制服、体操服、書類、封筒など用途ごとにデザイナーと相談しながら

歳入

△地域経営推進費
220万円減

質問 この減額は、みちのく潮風トレイル管理運営事業での要望取り下げということだが、こういった内容か。

回答 県補助金の申請事務を進める中で、本補助事業は国に補助メニューがある場合には対象外という要件があり、今回は国で該当する補助メニューがあったことから取り下げとなったもの。

の。なお、国の補助メニューは、申請から採択まで時間を要することから、国の補助は申請せずにふるさと応援基金を充当するものとなる。

▽新型コロナウイルス定期接種ワクチン確保事業助成金
612万円皆減

質問 国の方針による減額との説明だが、その国の方針とはどのような内容か。

回答 昨年度2類から5類に変更になった関係もあり、令和7年度以降は国からの助成は終了したが、村単独で助成しているもの。

村民の皆さんにお知らせしたい 杵屋村長の行政報告 (9月定例会)



主要な工事の状況

県道は、普代小屋瀬線卯子酉地区道路舗装修繕工事が着工となっております。

村道は、黒崎3号線道路改良(その2)工事、普代駅前1号線歩道改良工事、村内舗装補修(旧国道2号線)工事が11月中の完成予定、力持港線道路改良(その2)工事が12月中の完成予定で、それぞれ施行中となっております。沢山線道路改良(その2)工事は10月中に、普代駅前8号線道路改良舗装(その2)工事、白井港線側溝整備工事、白井沢向線道路改良工事は11月中の発注で取り進めてまいります。

漁港は、県での太田名部漁港機能保全工事と堀内漁港機能保全工事が3月中旬の完成予定で進められております。

太田名部地区漁業集落排水処理施設機能保全工事での処理場内のポンプなどの更新は、9月中の完成となります。

公共施設の空調と照明改修工事は、自然休養村管理センターの空調と落合農林水産物直売所の照明が8月下旬に完成しております。堀内地区漁村センターの照明は12月中旬の完成予定で施工中でありますし、高齢者活動施設及び沢向地区コミュニティーセンターの空調と照明は年内完成を目指し9月中の発注を予定しております。

歯科医師住宅建設工事は、11月の完成予定で施工中であります。

普代村立普代学園建設工事

9月4日、関係各位の出席をいただく中で、安全祈願祭が執り行われました。

令和9年2月初旬までの工期で、無事故・無災害での完成となりますことを願うものであります。

くろさき荘の運営状況

天候に恵まれキャンセルなどもほとんどない中での宿泊者数が、トレイル以外の一般観光利用の470人減少が大きく影響し2,147人(昨年度比600人減)止まりとなり、事業収入も32,945千円(昨年度比4,801千円減)となっております。

今後は料金優待セールや季節食材限定プラン企画、「トレイルランニング大会」や「トレイル北部ルート開通10周年記念祭」などへの誘客増に努めつつ、義務教育学校建設工事関係者の利用の取り込みや村民対象のイベントの実施などにより、さらなる誘客拡大に取り組みつつ、売り上げの向上も図りながら閑散期の宿泊営業も行うよう検討を続けてまいります。

道の駅・青の国ふだい

4月から8月までの利用客数は、道の駅の開設前比で257%(11,639人増)、売上は279%(11,172千円増)となっております。自主イベントの開催などにより、全体として着実な誘客の伸びが図られております。

引き続き、村全体の賑わいづくりに寄与できるよう、立ち寄りたいていただける道の駅づくりに努めます。

ふるさと納税の状況

8月末現在で230,971千円(前年度比95.0%、12,202千円減)となっております。減少の要因は、主力返礼品の生ウニが今年度も極端な高値となったことや、物価高等の影響により、ふるさと納税の全体的な流れとして、米やティッシュなどの人気が高まっているからであります。

今後も丁寧な対応を心がけつつ、リピーターの確保に引き続き努めながら、関係事業者との連携も強め、目標額としている5億円を達成できるよう鋭意取り組んでまいります。



嵯峨典行 決算特別委員長

令和6年度の決算を認定

村政のさまざまな分野で活発な意見

決算特別委員会（嵯峨典行委員長・委員8人）は9月18日から行われ、令和6年度の一般会計決算及び4特別会計並びに2公営企業会計の総額60億2,120万円を審査しました。村政のさまざまな分野で質疑が行われた結果、全員賛成で原案のとおり認定しました。その中の質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

監査意見

計画的な起債の借り入れを

和久喜美男 監査委員
松葉明人 監査委員

一般会計及び4特別会計並びに2公営企業会計の決算総額は、歳入58億9,437万7千円、歳出57億7,228万8千円で、前年度に比べ、歳入で11・52%の増、歳出は12・29%の増となっている。全会計総額の実質収支は7,485万6千円の赤字で、単年度収支は1,591万8千円の赤字となっている。

実質公債費比率については、起債現在高も多額であり、公債費負担適正化計画に基づき地方債の借り入れ抑制等をした結果、9・0%で前年度の9・3%を0・3ポイント下回っている。

一般会計予算の歳入の34・91%を占める地方交付税は、今後も増加は期待できず厳しい財政状況が予想されるが、村民の行政に対する期待は大きく、財政需要はさらに増大するものと思われる。事務事業の執行に当たっては、優先度、緊急度を十分考慮するとともに、最小の経費で最大の効果が得られるよう一層効果的な行政運営に努められたい。

令和6年度決算総額60億円!! 主な事業と質疑をピックアップ

一般会計

総務費

○災害後方支援拠点広場整備事業 1、267万円

質問 本事業は今年度で完了ということだが、防災に関して、災害があった場合に一番困るのはトイレだと



災害後方支援拠点広場

新聞に出ていたが、そのような場合に備えてトイレラートイレを整備している自治体がある。災害で活用したり、被災した地域に貸し出したりしているようだが、災害に対応したトイレが必要ではないか。

回答 現在避難所に指定されている場所や、災害後方支援拠点広場にもトイレは整備されている。移動可能なトイレについても緊急時の避難者数などを精査した中で検討していく。

○総合防災訓練 5万円

質問 有事の際、災害対策本部を役場の2階に設置するが、大きな津波等の場合には、高台のB&Gに本部を設置するという考えはあるか。また、公用車の高台避難もするのか。

回答 基本的に役場の2階以上に災害対策本部を設置

するという考え方である。ただ大津波警報の場合など臨機応変な対応が求められることもあるので、訓練等を通じて対応力向上を図っていく。また、公用車については、高台に移動中に被災する可能性もあるので、現段階では考えていない。

○移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業 981万円

質問 事業内容について「ガストロノミー料理人」、「狩猟者」、「羊&ナリワイ」とあるが、これはどのような内容か。

回答 ガストロノミー料理人は、単に料理を提供するだけではなく、地域の食文化や歴史、それらを組み合わせ、普代村の食の魅力を発信してくれる人材を誘致する

もの。狩猟者は、鳥獣被害も全国的に増えており、地域の猟友会も高齢化している中で、一つの仕事として、狩猟と農業などを組み合わせた仕事モデルとなる。羊&ナリワイは、牧羊と農業分野などのナリワイを連携した形でうまく発展させたいという仕事モデルである。

○普代村定住促進団地整備事業分筆登記業務委託料 231万円

質問 普代村定住促進団地について、2区画契約に至ったとあり、4区画残っているとのことだが、村外にPRなどしているのか。

回答 契約済みの2件については、所有権の移転まで終了している。令和7年度分は現在受付中である。PRは、チラシでの周知や広報ふだいでの記事掲載等を実施している。今後はもっと周知方法やチラシ配布の時期等について検討していきたい。

衛生費

○普代村脱炭素地域づくり調査委託料 1、067万円

質問 本事業で実施した、公共施設への太陽光発電設備等が設置可能ななどの調査はどのような内容か。

回答 村の112施設を費用対効果と併せて調査した。最終的には12施設へ設置が可能とされた。



定住促進団地

農林水産業費

○中山間直接支払交付金 95万円

質問 この交付金は令和6年度で事業が終了したところだが、それはなぜか。

回答 昨年、現地調査があり、現状では水が溜まらず、水田として機能しない状況となっているため、令和7年度から対象外となったもの。

○久慈地方乳用牛群検定推進協議会負担金 7万円

質問 鳥居地区で1業者が牧場をやっており、村としては大事な畜産業だと思いが、そこに対する補助金はないのか。色々な支援はしていると思うが、直接的な補助などを検討できないのか。

回答 直接的な補助ではないが、資金貸付の利子補給や、久慈地方乳用牛群検定推進協議会負担金を村で支出するなどして支援をしている。今後の支援についても、牛舎の改築や機械の更

新などの支援が可能か検討していきたい。

○水産業活性化事業補助金 900万円

質問 アワビの稚貝を放流しているが効果について伺う。また、同じ金額で同じ状態での放流では効果がありえないように感じるが、もっと1箇所に絞って大量に放流してみるなど、新たな手法でやれないものか。

回答 アワビの放流について水揚げの量で回答すると、平成25〜26年ころは10トン前後であったが、震災以降は約1〜2トン前後と減少している。令和4〜5年度は少し盛り返したが、令和6年度は不漁であり約0.3トンとなっている。その中で、令和4〜5年度では約4割が放流もので、令和6年度は不漁の影響もあり放流ものは約3割であった。金額や手法については、国や県、漁協などの関係機関と相談しながら再検討していく。

土木費

質問 以前予算化していたが半導体などの関係で、村での整備がストップした電気自動車用充電スタンドについて、現在はすでに道の駅に設置されているが、どういった経緯で設置されたものか。

回答 補助の関係や半導体の供給不足などにより村の事業はなくなり、今設置されている充電スタンドは民間事業者が独自に設置して運営している。村では設置する場所を貸し出している状況となる。

教育費

質問 普代小学校、中学校に勤務している教職員数は。また、村内に住んでもらうような努力はしているのか。

回答 小学校14名、中学校15名である。現在は学校の近くに管理職の先生方が住んでいる。また、先生方の中には逆に普代に住みたい

という方もいたが、住む場所を見つけれなくて仕方なく久慈に住んでいるケースもあった。義務教育学校開校の関係もあるので、普代に住んでもらえるように取り組んでいきたい。

質問 以前あった男女共同参画事業がなくなっているがなぜか。

回答 第1期の男女共同参画の計画が終了してから活動が少なくなり、6年度においては会議等も行われなかった。男女共同参画は女性の活躍、多様性の問題等の重要な活動であるので、その活動内容について改めて検討していきたい。

歳入

質問 令和6年度末の村税の各項目における、村税徴収権消滅による時効成立者の件数と金額は。

回答 6年度末の各税における徴収権のない滞納額等は、村民税で3,462,600円、34件、65人。固定資産税で4,258,6

20円、128件、49人。軽自動車税で40,200円、6件、17人である。

国保特別会計

質問 今回、不納欠損処理をしているが、まだ処理すべき滞納はあるか、あるならば金額はいくらか。また、不納欠損処理した世帯は、処理してから病院受診する場合に、何か特別な対応などしているか。

回答 残っている滞納者は48世帯、金額4,045,787円となる。その中には不納欠損処理をすべきケースもあるので、その状況を確認しながら対応していく。なお、不納欠損処理をしても病院受診に影響はない。不納欠損処理をした後の税の状況で、短期の資格確認証を発行するなどの対応がある。

定例会で決まった議案

議案番号等	議 案 等	審議結果
議案第1号	令和7年度 普代村一般会計補正予算（第6号） 補正額3,258万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を57億1,435万9千円とするもの。歳入では、定額減税不足額給付金に係る交付金及び給付金の増額が主なもの。歳出では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による定額減税不足額給付金1,181万7千円増額、子ども・子育て支援金制度体制整備事業委託料253万円の増、黒崎地区法面修繕業務（張芝工）412万5千円・村内防護柵設置業務181万5千円の増額、新採用職員の増額などが主なもの。	可 決 (全員賛成)
議案第2号	令和7年度 普代村休養施設事業特別会計補正予算（第2号） 補正額176万7千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億2,108万3千円とするもの。経年劣化による食堂タイルカーペットの張替及び保冷車修繕費用を増額するもの。	
議案第3号	普代村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること 任期満了に伴い現固定資産評価審査委員会委員大村耕一氏（上区）を再任することに同意を求めるもの。 任期は令和7年10月1日から3年間。	同 意 (全員賛成)
議案第4号	普代村教育委員会委員の任命に関し同意を求めること 任期満了に伴い現教育委員会委員大村克伸氏（太田名部）を再任することに同意を求めるもの。 任期は令和7年10月1日から4年間。	
議案第5号	普代村行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	
報告第1号	令和6年度 普代村の財政の健全化判断比率及び資金不足比率	認 定 (全員賛成)
認定第1号	令和6年度 普代村一般会計歳入歳出決算の認定	
認定第2号	令和6年度 普代村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第3号	令和6年度 普代村国民健康保険診療施設特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第4号	令和6年度 普代村休養施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第5号	令和6年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定	
認定第6号	令和6年度 普代村簡易水道事業会計決算の認定	可 決 (全員賛成)
認定第7号	令和6年度 普代村下水道事業会計決算の認定	
発議案第1号	「ゆたかな学びの実現、教職員定数改善と教育予算の拡充に係る意見書」の提出	
発議案第2号	「「カリキュラム・オーバーロード」の改善を求める意見書」の提出	



義務教育学校建設工事が始まります！

9月4日、各議員及び関係者が出席する中、建設工事の安全祈願祭が実施されました。関係者約60名が出席し、白井地区の建設予定地で行われ、鍬入れなどの神事や鵜鳥神楽の演舞が行われ、工事の無事を祈りました。令和9年2月初旬までの工期であり、無事故・無災害での完成を願うものです。

湾内給餌認可へ 再チャレンジを

一部を除く湾内エリア給餌可能

—— 梶屋村長

大上 智

海藻残渣の 湾内給餌認可

質問 海藻残渣の湾内給餌認可への再チャレンジを。

答弁 梶屋村長 漁協が県漁連に提出した、令和6年度2月からのワカメ・コンブの残渣給餌実施計画書において、太田名部地区の旧魚市場前などを除く、すべての村内漁港湾内エリアも給餌可能となったと聞いている。

ウニ養殖事業

質問 停滞している村内活気を取り戻す目的で、村内水産業界全体で、普段の口開け時に採取対象としていない深部に生息する、未利用ヤセウニ資源を活用した、本格的なウニ養殖事業の検討に取り組むべきだと思うが。

答弁 梶屋村長 蓄養への取り組みを進めるべきだと考える



ふれあい交流センター

ふれあい交流 センター

質問 老朽化した「ふれあい交流センター」は、新築か、あるいは既存施設利用の移転か。

が、本格事業化は採算性のある規模、手法、流通方法、蓄養ウニの確保等の課題の検討を漁協と漁業者及び水産業者が相談し、方向付けがされた段階で、村にないでいただければ、県への協議・要請など含め、最優先の取り組みをさせていただく。

過年度税金 滞納金回収策

質問 村税消滅時効成立者に対する対応は。

答弁 梶屋村長 死亡者除きの、不誠実な納税者発生への懸念もあったが、一部について不納欠損処分を行った。今後についても事務取扱指針に基づき処分を行うことと併せ、時効完成を無くするよう臨戸調査により、滞納者の誠意ある・なしの把握に努める等、徴収対策を強化し、滞納繰越分の削減に努めてまいり所存である。

就漁魅力発信策による移住・定住

質問 定置網等、資源溢れる普代村漁業存続のため、漁業者増加戦略に向けて、「地域おこし協力隊誘致に実績のある、株式会社アースカラーと協力体制を構築できないものか。

答弁 梶屋村長 株式会社アースカラーには、いろんな面で取り組みを進めてもらっている。ぜひ村内企業支援について、村、村民と一緒に盛り上げていければと思っている。



上記のほかに「上下水道事業経営戦略」について質問しています。

一般質問

村政を問う

村の議題を熱く議論！

9月定例会の一般質問には、3人が登壇し、村の課題などに対し、村当局の考えを問いました。

お大 上 智 議員	1.「本格的ウニ養殖事業取組みによる、村内経済の活性化」について 2.「老朽化した、ふれあい交流センターの建設・移転」について 3.「税金滞納者に対する回収策実行」について 4.「普代村上下水道事業経営戦略」について 5.「地域おこし協力隊」について	9ページ
さい とう まさ あき 齊 藤 正 明 議員	1.森林環境譲与税の活用について 2.防災・減災対策について	10ページ
かね こ やす お 金 子 泰 男 議員	1.観光行政の推進について 2.住宅用下方放出型自動消火装置の助成について 3.働く場の確保策について	11ページ

一般質問とは、本議会で議員が、執行機関である村長などに対し、村政全般に関する事務の状況や将来の方針などについて問うものです。「一問一答方式」で行い、1人60分の制限時間内で質疑を繰り返します。一般質問は3月、6月、9月、12月の定例会に限り認められています。

「一般質問」市政を問う

齊藤 正明



危険性の高い被害木の伐採を

県事業の活用を進めている状況

―― 榎屋村長

森林環境譲与税の活用を

質問 今後、ナラ枯れ被害が一層進み、枯損した樹木の倒木などによって、人身または家屋などへの被害をおよぼす恐れがある場合、被害を未然に防ぐために立木を事前に伐採することに活用を。

答弁 榎屋村長 県事業の「森林病害虫等駆除事業」と、岩手の森林づくり県民税を財源とする「いわて環境の森整備事業」の2つの事業の活用を進めていく。

これについて幅広い事業に柔軟に活用できるよう県北広域振興局の林務部長を通じて、本庁へ要望している。振興局でもそれを受けて、急ぎ、現場の確認を行っており、対応の検討を振興局の方でも深めている状況である。

質問 倒木被害の予防安全対策として、危険性の高い被害木の伐採



ナラ枯れによる倒木

防災・減災対策

質問 自主防災組織に関わる自助、共助、行政と地域、それぞれの役割をどのように考えているのか。

答弁 榎屋村長 村では、自助・共助の役割を担う主体として、自治会を母体とした自主防災組織の結成及び活動に対する補助金制度を新たに創設をし、自主防災組織の育成支援に取り組んでいる。制度の周知及び活用促進を図り、出来るだけ早期に、すべての地区で自主防災組織を立ち上げられるよう取り組んでいく。

質問 今後の防災士養成研修講座の実施計画及び目標とする防災士の養成人数は。

答弁 榎屋村長 村では現在、日本防災士機構が定める研修機関が実施をしている講座に申し込むという形で実施している。

目標とする防災士の養成人数については、別段定めはない。今後も、自助・共助の役割を担う主体として、防災士の育成に継続的に取り組んでいく。

質問 災害時避難行動要支援者への避難対策は。

答弁 榎屋村長 1つには「情報共有の仕組みと情報伝達体制の整備」、2つ目には「個別避難計画の策定」を、3つ目には「避難訓練等の実施」の3つ、これを基本方針に掲げている。

避難行動要支援者及び避難支援等関係者への迅速・確実な情報伝達が行われるよう、消防団や自主防災組織等を通じて、情報伝達体制の整備にも努める。

観光行政の推進

質問 普代村には、海があり、山があり、宿泊施設があり、すばらしい自然景観があるが、何を観光の目玉にしているのかがいま一つ見えていない。現在、村民が望んでいる観光行政とはどういうものか把握し、子どもの夢がふくらむ施策が必要だと思いませんか。

答弁 榎屋村長 資源の掘り起こし、磨き上げ、その発信の強化、そして民間との協働での活用体制の構築など引き続きの課題と認識している。観光推進の方向性としては、ジオサイトやトレイルを含めた自然の資源、歴史・文化資源、食や季節ごとの産業活動に伴う魅力、諸イベントなどあらゆる資源を組み合わせた体験型プログラムメニューを民間事業者と共同で開発・商品化しながら、滞在・宿泊パッケージや地域宿泊割引など

住宅用下方放出型自動消火装置の助成

質問 防火に対する意識を高めるとともに万全の備えをするといった観点からも、住宅用下方放出型自動消火装置は有効な施策だと考える。金額的にも3万円台で購入できる物もあり、村として75歳以上1人世帯に対しての助成をしてはどうか。

答弁 榎屋村長 火災の際に自動で効果を発揮する住宅用自動消火装置の製品化が進んできているが、設置コストや消火範囲、メンテナンス等の課題から、一般家庭への普及はまだあまり進んでいない状況である。村単独での助成制度の創設には、設置対象や設置基準、デメリットなども含めて、更なる検討を進めていく。



住宅用下方放出型自動消火装置

働く場の確保策

質問 本村では今までも人口減少対策としていろいろな対策を講じてきたわけですが、人口流出には歯止めがかかっていない状況である。働く場がないから人口が流出するわけだが、だからといって企業を誘致することも厳しいところである。幸いにも普代村は観光に力を入れているので、宿泊施設にもっと人を呼び込む思い切った対応策、施策をとるべきと思う。何もせず村の衰退を待つのではなく、少しぐらいの負担は伴っても、行政自体が働く場を確保するため

の施策を講ずることについての考えを伺う。

答弁 榎屋村長 人口減少に歯止めがかからないことは全国の地方自治体が危惧しており、岩手県及び本村においても、進学・就職期における若年層の流出が顕著となっている。企業誘致が困難な現状では、行政が一定の役割を果たす必要がある。公的事業やインフラ整備、起業支援制度を通じて、村のあらゆる資源を活用した仕事や事業などが創出され、新たな相乗効果も生み出されるよう、既存施策の活用等による民間参入を段階的に促していきたい。



くろさき荘からの漁火

主な議会の動き

(6月定例会～9月定例会 諸報告より抜粋)

月 日	場 所	事 項	出 席 者
6月9日	役 場	議員全員協議会	各議員
13日	役 場	令和7年第5回普代村議会定例会	正副議長、金子、大上浩史、齊藤、中上、嵯峨、森田、大上智議員
25日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
7月7日	役 場	議会運営委員会	各委員、正副議長
		令和7年第6回普代村議会臨時会	各議員
		議員全員協議会	各議員
8～9日	雫石町	第1回岩手県町村議会議長会政務調査会並びに政務調査会研修会	正路議長
10日	久慈市	久慈地区市町村議会連絡協議会定例総会	正副議長
16日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
24日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
8月5日	自然休養村管理センター	戦没者追悼式	各議員
	役 場	議会運営委員会	各委員、正副議長
6日	盛岡市	岩手県町村議会議長会町村議会夏季議員大学講座	金子、松葉、齊藤議員
14日	北緯40度運動公園野球場	村長旗争奪地区対抗野球大会開会式	正路議長
18日	役 場	議員全員協議会	各議員
	太田名部漁港	漁港検診	正副議長、金子、松葉、齊藤、中上、嵯峨、森田、大上智議員
21～22日	東京都	中央研修会・三県合同交流会、岩手県選出国会議員との懇談会	正副議長
25日	役 場	議会運営委員会	森田副委員長、金子、松葉、大上浩史、齊藤、嵯峨、大上智委員、正副議長
		令和7年第7回普代村議会臨時会	正副議長、金子、松葉、大上浩史、齊藤、嵯峨、森田、大上智議員
	久慈市	市町村からの県要望	正副議長、嵯峨総務常任委員長、森田産業経済常任委員長
28日	盛岡市	第63回知事を囲む懇談会	正路議長
9月4日	白井地内	普代村立普代学園建設工事安全祈願祭	正副議長、金子、松葉、大上浩史、齊藤、嵯峨、森田、大上智議員
9日	社会体育館	普代村敬老会	正路議長
10日	役 場	議会運営委員会	各委員、正副議長
14日	役 場	普代村災害対策本部設置運営訓練	正副議長

7/7 第6回臨時会

審議した案件は、令和7年度普代村一般会計補正予算など6議案を全員賛成で原案可決した。

◇令和7年度普代村一般会計補正予算（第4号）

補正額644万6千円を追加し、歳入歳出の予算の総額を56億7,509万8千円とするもの。
北緯40度運動公園野球場管理費（野球場非常用放送設備の故障による機器修繕）199万4千円増額、鮭の供養塔修繕業務（ライトアップ、塗装修繕）70万円皆増、エアコン設置支援補助事業80万円増額（15件追加）が主なもの。

◇令和7年度普代村休養施設事業特別会計補正予算（第1号）

補正額171万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を1億1,931万6千円とするもの。
くろさき荘大浴場水栓、照明、貫流温水ボイラー熱交換器修繕など。

◇財産の取得に関し議決を求めること

普代村消防団第6分団に配備している小型動力ポンプ付積載車を更新するため購入するもの。

取得予定価格：1,696万2千円

取 得 先：互光商事株式会社

◇普代村立普代学園（建築）工事の請負契約の締結に関し議決を求めること

工 事 名：普代村立普代学園建設（建築）工事

工 事 場 所：普代村 白井地内

契 約 金 額：21億5,600万円

請 負 者：宮城建設株式会社・株式会社小山組 特定共同企業体

◇普代村立普代学園（電気設備）工事の請負契約の締結に関し議決を求めること

工 事 名：普代村立普代学園建設（電気設備）工事

工 事 場 所：普代村 白井地内

契 約 金 額：3億9,952万円

請 負 者：株式会社カヌカテックプラス

◇普代村立普代学園（機械設備）工事の請負契約の締結に関し議決を求めること

工 事 名：普代村立普代学園建設（機械設備）工事

工 事 場 所：普代村 白井地内

契 約 金 額：5億39万円

請 負 者：株式会社カンキョウ

8/25 第7回臨時会

審議した案件は、令和7年度普代村一般会計補正予算1議案を全員賛成で原案可決した。

◇令和7年度普代村一般会計補正予算（第5号）

補正額667万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額を56億8,177万6千円とするもの。
子ども園備品購入費（エアコン更新2台）120万円増額、エアコン設置支援補助事業130万円増額（25件追加）が主なもの。

V O I C E 未来予想図 Fudai

村びとのチカラで更なる熱気を！

ふじわら ひろし
藤原 浩さん (63)

村に移住し1年足らずですが様々な活動を通じ、村の方々と親交を図ってまいりました。

“ふだいまつり”の山車づくりに関わらせていただき、少し役に立てたかなという気がしています。山車づくりも若い人の参加は減っている様ですが、参加している人たちは、楽しく責任持って行っていました。やはり地域づくりは住民参加、それに尽きるかと改めて考えました。

今後は、府中市とのロボコン事業や旧黒崎小体育館を活用した事業を進めていきます。

村の皆さんの協力無くしては進められません。お願いに伺ったらず是非とも宜しくお願いします。😊

自然と挑戦が調和する普代のこれから！

ふじもと けんじ
藤本 健司さん (41)

私は普代村の海と山に囲まれた自然のなかにあるゆっくりした時間や、人の温かさが大好きです。

今はカフェ運営や普代のファンづくりに挑戦しながら、新しい価値を生み出すことを頑張っています。将来は若い世代や子育て世代が増えるような暮らしの提案や、起業に挑戦できる場所にしたいです。

そのために教育や雇用の課題に向き合いつつ、村長や議員の皆さんと協働できることを模索していきたいです。普代村が「挑戦する人を応援する村」として未来に誇れる存在になることを願っています。😊

広報委員からの返信



齊藤 正明 広報副委員長

藤原さんには、日頃から地域のために熱心に活動を展開していただきまして、感謝しております。

ロボコン事業では、これまで培ってきたノウハウや経験などをフル活用して、普代村を元気にするために活躍していただきたいと思います。

今後の活動を応援しています。



松葉 明人 広報委員

全国の中から「普代」をお選びいただきありがとうございます。自然豊かで、静かに時間が流れているところがお気に入りとのこと。

目標を明確にお持ちになる藤本さんの「挑戦する人を応援する村」は同感です。ともに、活力ある村にしていくよう頑張りましょう。

※くろさき荘のフロントから見る「日の出」や久しぶりの「漁火」は最高です。地球の丸さも感じる事ができて必見です。

発行責任者			
議長	正路 正敏	副議長	大上 正智
委員	古沼 和也	委員	松葉 明人
委員	齊藤 明	委員	藤原 浩
委員	大上 正智	委員	松葉 明人
委員	古沼 和也	委員	齊藤 明
委員	松葉 明人	委員	藤原 浩
委員	大上 正智	委員	松葉 明人
委員	古沼 和也	委員	齊藤 明
委員	松葉 明人	委員	藤原 浩

9月定例会が開催されました。暑かった夏も終わり、秋の到来の季節となりました。政局においては、国会・県議会とも新体制が動き始めたところですが、私どもにおいては、食欲の秋、スポーツの秋を満喫しながら、健康にも留意し、平穩に過ごせることを願うところです。(大上 智)

10月13日に大阪・関西万博が閉会となりました。どなたからもお誘いがなく、行くことができませんでしたが、残念です。

ですが、2030年にはサウジアラビアで次の万博が開催されるので、次こそは連れて行ってくれる方を再募集します。アラビア語は私にお任せください。(古沼和也)

あ
と
が
き



今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。

